

## 7 活動人口増加プロジェクト

～信州を元気にする「活動人口」の増加～



少子化対策の充実と移住・交流の促進により人口減少を抑制することに加え、様々な社会活動を活発化させることにより活動人口の増加をめざします。

### アクション1 結婚しやすい環境づくり

未婚者の出会いの機会の拡大や結婚生活を支える若者の雇用の安定化など結婚しやすい環境づくりに取り組みます。

### アクション2 子育てを支える環境づくり

仕事と家庭の両立支援に向けた取組などにより、1人目はもとより、2人目、3人目の子育てもしっかり支える環境づくりを進めます。

### アクション3 移住・交流推進施策の積極的な展開

三大都市圏などからの移住希望者に対する総合的・横断的な移住・交流推進施策を積極的に展開します。

### アクション4 公共的活動の支援と協働の積極的推進

NPO等多様な民間の主体が行う公共的活動を支援するとともに、様々な主体との協働を積極的に進めます。

# (1)結婚しやすい環境づくり

～ながの出会い応援プロジェクト～



きっと、  
つながる。

長野県  
婚活支援センター  
ハピナビオフィスOPEN

## 【取組のポイント】

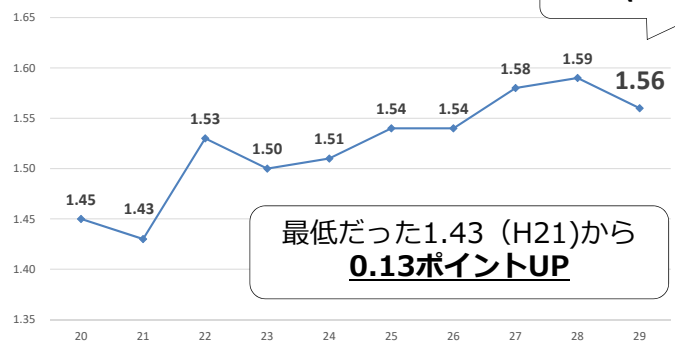
- 社会全体で結婚や子育てを支援する気運を醸成
- 若者の出会いの機会の拡大

## 現状と課題

合計特殊出生率  
**1.56 (H29) (全国14位)**

出生数は減少が続く  
**15,169人 (H28) ⇒ 14,519人**  
(H29概数)

長野県の合計特殊出生率の推移



(出典：厚生労働省「人口動態統計」※H29は概数)

## 主な取組

- 「長野県婚活支援センター」による支援 ～ながの出会い応援プロジェクト～ (H28.10～)

長野県婚活支援センター  
マスコットキャラクター  
「天使のアルクマ」



長野県PRキャラクター「アルクマ」  
(婚活支援バージョン) ©長野県アルクマ

- しあわせ信州婚活サポーター（個人）・婚活応援団（団体・企業）の認定(H25.9～)
- 「ながの結婚マッチングシステム」の運用(H23.7～)

## 成果

- 首都圏からの未婚者呼び込み (H28)  
～信州I（愛）ターン～  
信州女子com(Ⅱ) in Tokyo 参加者53名  
信州体験ツアー in 野沢温泉村 参加者33名
- 婚活サポーターの活動により147組 (H25.9～H30.3)

マッチングシステムにより28組成婚 (H25.4～H30.3)



婚活サポーター：1,185名  
婚活応援団：203団体 (H30.3現在)

# (2) 子育てを支える環境づくり

～みんなで支える“子育て安心県 ながの”～



## 【取組のポイント】

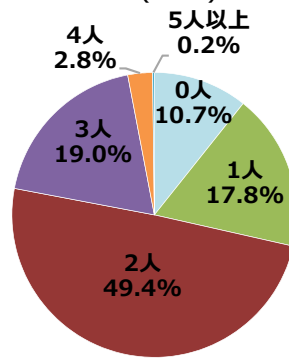
- 安心して子どもを産み育てられる環境づくり
- 多様な保育サービスの提供

## 現状と課題

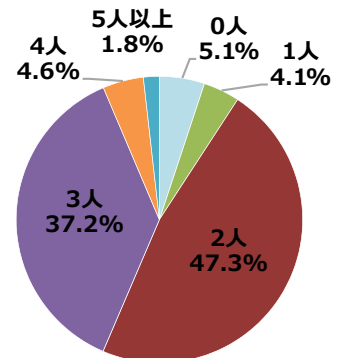
「長野県子育て支援戦略」により県と市町村とが協働して子育て支援策に取り組む

「理想とする子どもの数」と「将来持つ予定の子どもの数」にギャップ

「実際に持つつもり(予定)の子どもの数」



「理想の子どもの数」



(出典：長野県民の結婚・出産・子育てに関する調査 (H29))  
※ともに既婚者の値

## 主な取組

- 市町村と協働で子育てに伴う経済的負担の軽減
- 「信州母子保健推進センター」事業の推進(H27.4開設)  
市町村における妊娠から子育てまで一貫した支援体制を構築
- 信州やまほいく(信州型自然保育)の普及を推進(H27.4認定制度創設)

## 成果

- 県内全ての市町村で第3子以降の保育料軽減を実施  
兄弟同時入所要件なし・所得制限なし (H27.4～)
- 母子保健推進員が市町村等の母子保健に関する技術支援及び助言等を実施  
実74か所 延べ418か所 (H29年度実績)
- 市町村における子育て世代包括支援センター設置への支援  
16市町村 (H28年度) ⇒22市町村 (H29年度)
- 市町村の保健師等【保健師、助産師、栄養士、歯科技術士等】を対象に母子保健に関する研修会の開催  
19回開催 延べ1,188人参加 (H29年度実績)
- 信州やまほいく認定園を152園認定 (H30.3月末現在)



# (3) 移住・交流推進施策の積極的な推進

## ～心が澄む、信州に住む～



### 【取組のポイント】

- 長野県で働くことの提案と支援
- 移住・二地域居住の魅力発信、相談・地域への溶け込み支援
- 住まいに関する支援の充実

### 現状と課題

移住したい都道府県ランキング

**12年連続 第1位**

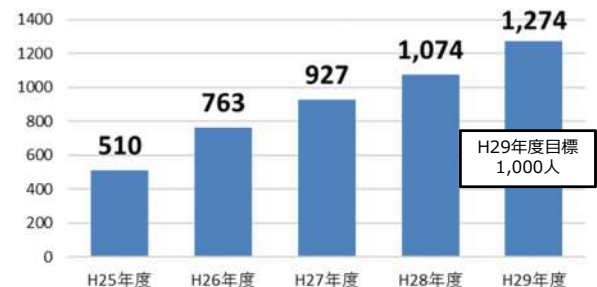
(田舎暮らしの本(宝島社)調べ)

20～30歳代の移住相談者の割合が高い

**全体の50.3%** (H29年)

(ふるさと回帰支援センター調べ)

行政サポートによる移住者数(長野県調べ)(単位:人)



### 主な取組

- 移住情報と仕事情報をワンストップで提供する機会づくり(H25.1～)
- 移住相談員、移住セミナーによる移住・二地域居住の魅力発信(H28.1～)
- 多様なニーズに配慮した住まいの提案  
県外居住者が県営住宅の入居可能に(H29.4～)  
※入居には一定の要件あり  
楽園信州移住応援企業と連携し住まい探しを支援(H28.9～)
- 宿泊体験用コンパクト住宅を整備する市町村への支援(H28.4～)

### 成果

- 大規模移住イベント「信州で暮らす、働くフェア」を初開催(H29年度)  
来場者 223組313人
- 労働局との一体的実施によるUIターン相談による就職者数61人(H29年度実績)
- 二地域居住者向けコンパクト住宅普及  
4町村へ支援  
(H28年度からの累計)



# (4) 公共的活動の支援と協働の積極的推進

～協働が切りひろく新たな共創社会に向けて～



信州子どもカフェ  
官民協働の子どもの居場所づくりに取り組んでいます。

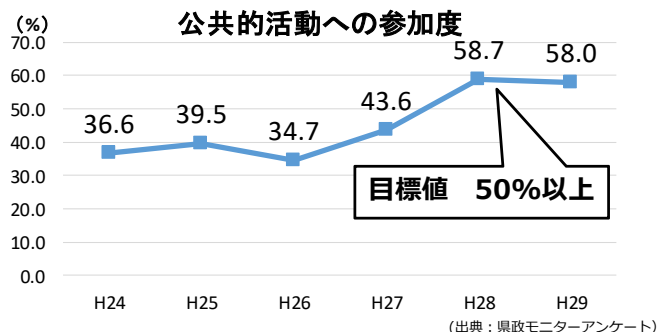
## 【取組のポイント】

- NPO等多様な民間の主体が行う公共的活動を支援
- 様々な主体との協働を積極的に推進

## 現状と課題

「信州協働推進ビジョン」(H25)に基づき多様な主体の協働を拡大

県民の公共的活動への参加度  
36.6% (H24) → **58.0%** (H29)



## 主な取組

- 「長野県みらいベース」の開始 (H25.4～)  
寄附文化を醸成し、県民や企業からの寄附により地域の暮らしや活性化を支えるNPO等の活動を支援
- 「協働コーディネートデスク」による協働の推進  
協働に関する相談や協働提案のコーディネート・支援、情報の発信
- 様々な団体との連携による県民協働の推進  
信州協働推進ビジョンにもとづく企業・団体等との連携協定や協働事業の積極的な実施

## 成果

- 寄附受領額：H29年度 21,802千円  
助成団体数：H29年度 66団体
- 
- | 年度  | 受領額 (千円) |
|-----|----------|
| H25 | 4,817    |
| H26 | 6,690    |
| H27 | 9,950    |
| H28 | 21,719   |
| H29 | 21,802   |
- 単位：千円
- 
- 協働コーディネートデスクでの相談の様子
- 協働コーディネートデスクにおける相談、協働提案への対応 40件 (H29)  
様々な団体との連携事業等を実現
    - ・ LINE株式会社との協定(子どものいじめ・自殺相談の実施)
    - ・ JANAがとの連携事業(子ども食堂へ食材を提供) 等

## 7 活動人口増加プロジェクト

### 達成目標の進捗状況

(総括マネージャー 県民文化部長)

進捗区分 ●「A」：目標値以上 ●「B」：80%以上100%未満の進捗  
 ●「C」：80%未満 ●「実績値なし」：H29年度実績値が把握できない  
 進捗割合=(実績値-基準値)/(目標値-基準値) ・「目安値」：H25～28年の目標値

| 県の推計値を上回る出生数  | 暦年       | 単位 | 基準値(H23) | H25   | H26    | H27    | H28    | 目標(H29)         |
|---|----------|----|----------|---|--------|--------|--------|-----------------|
|   | 目標値(目安値) | 人  |          | 0   | 100    | 200    | 400    | <b>600</b>      |
|   | 実績値      |    | -        | 156   | 269    | 640    | 752    | <b>631</b>      |
|   | 進捗区分     |    |          | A   | A      | A      | A      | <b>A</b>        |
| ※実績値は下表のB-A【関連データ】<br>出典：H29年人口動態統計(概数) (単位：人)  |          |    |          |   |        |        |        |                 |
| 指標名   |          |    |          | H25   | H26    | H27    | H28    | H29             |
| 県推計値 A  |          |    |          | 16,170  | 15,579 | 14,998 | 14,417 | 13,888          |
| 出生数 B   |          |    |          | 16,326  | 15,848 | 15,638 | 15,169 | 14,519          |
| 指標名   |          |    |          | H25   | H26    | H27    | H28    | H29             |
| 合計特殊出生率   |          |    |          | 1.54  | 1.54   | 1.58   | 1.59   | 1.56<br>(全国16位) |
| (進捗状況の分析)<br>H29年の出生数は14,519人となり、H28年の出生数15,169人を下回りましたが、推計値13,888人に対しては631人上回っており、目標を達成しました。<br>なお、H29年の合計特殊出生率は、20代から30代前半の出生率の低下が要因で0.03ポイント減となったものの、H24年の1.51からは、回復傾向にあります。 |          |    |          | (今後の取組)<br>・平成29年度末に策定した「子ども・若者支援総合計画」に基づき、様々な主体と連携した子育て支援施策を実施<br>・若者がライフデザインを学ぶ機会の創出など、市町村や企業等と連携した結婚支援の充実を図る |        |        |        |                 |

## 7 活動人口増加プロジェクト

| 行政サポートによる移住者数  | 年度       | 単位 | 基準値(H23) | H25   | H26 | H27 | H28   | 目標(H29)      |
|--|----------|----|----------|---|-----|-----|-------|--------------|
|  | 目標値(目安値) | 人  |          | 600   | 700 | 800 | 900   | <b>1,000</b> |
|  | 実績値      |    | 456      | 510   | 763 | 927 | 1,074 | <b>1,274</b> |
|  | 進捗区分     |    |          | C   | A   | A   | A     | <b>A</b>     |
| 【関連データ】<br>指標名<br>移住したい都道府県ランキング<br>1位 1位 1位 1位<br>H18～H29年 12年連続1位<br>出典：田舎暮らしの本(宝島社)調べ |          |    |          |   |     |     |       |              |
| (進捗状況の分析)<br>相談体制の充実や、田舎暮らし「楽園信州」推進協議会の取組の定着により、目標を達成しました。また、移住希望地域ランキングでも上位を維持しています。    |          |    |          | (今後の取組)<br>・三大都市圏(東京、大阪、名古屋)での移住相談<br>・農ある暮らしや一人多役などのターゲットに応じた移住セミナーの開催 |     |     |       |              |

| 公共的活動への参加度  | 年度       | 単位 | 基準値(H24) | H25   | H26  | H27  | H28  | 目標(H29)     |
|---|----------|----|----------|---|------|------|------|-------------|
|   | 目標値(目安値) | %  |          | 39.3  | 42.0 | 44.7 | 47.4 | <b>50.0</b> |
|   | 実績値      |    | 36.6     | 39.5  | 34.7 | 43.6 | 58.7 | <b>58.0</b> |
|   | 進捗区分     |    |          | A   | C    | B    | A    | <b>A</b>    |
| (進捗状況の分析)<br>公共的活動の参加度は昨年度と同水準で目標を達成しました。年代が高くなるに従って参加度が高くなる傾向があり、特に50歳代以上は6割を超えました。一方、10歳代から30歳代の参加度が昨年より減少しました。 |          |    |          | (今後の取組)<br>・高校生・大学生などの若い世代との協働を推進する。<br>・専門的知識・経験を持つボランティア(プロボノ)とNPOとのマッチングを支援し、公共的活動を行う団体を人材面で支援すると同時に、県民の公共的活動への参加を促進する。<br>・「長野県みらいベース」を活用して寄附文化を醸成する。 |      |      |      |             |